

予算審査特別委員会

第91号議案・平成20年度白石市一般会計補正予算(第4号)、から第95号議案・平成20年度白石市下水道事業会計補正予算(第3号)までの計5議案については、定例会第2日目(12月10日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長 安藤佳生、副委員長 制野敬一)で、12月11日に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決しました。審査の中で論議された主な点は次のとおりです。

総務財政所管

〔質疑〕財政調整基金残高の見通しについて伺いたい。
また、前年度と比較して、その増減額について併せて伺いたい。

〔答弁〕12月補正予算を含めた段階で、主要基金といわれる財政調整基金と減債基金、都市整備基金の年度末の残高については差し引きで3億円前後の減少となると見込んでいます。

主要な財政調整基金の残高と前年度末との比較増減見込み

基金の名称	残 高	増 減
財政調整基金	15億7,000万円	2億円増
減債基金	7億8,000万円	9千600万円減
都市整備基金	18億6,000万円	4億8,000万円減

(答弁を表形式にしました)

建設産業所管

〔質疑〕緑地公園の駐車場工事について、常設の駐車場ではなくて臨時の駐車場とした理由と、どのような利用形態を考えているのか、伺いたい。

〔答弁〕大きな大会が重なる、沿線の市道に路上駐車する場合は非常に多く、付近住民の通行に支障があるなど、駐車場不足が懸念されていた。これを緩和するため、臨時の駐車スペースとして確保し、一般市民の方々の通行などに支障を来さないようにしようとするものである。

〔質疑〕ミニ道の駅構想をはじめとして、国の補助が得られないからといって、市がやりたい事業を断念することなく、取り組むべきではないのか伺いたい。

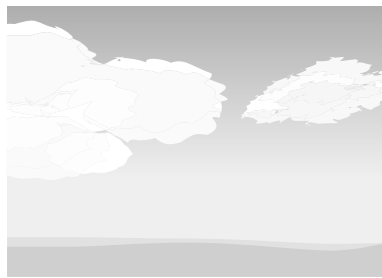
〔答弁〕道の駅風のものをつくろうという構想は、まだ計画策定の段階である。

国土交通省が進めている道の駅は大河原町金ヶ瀬の国道4号4車線化に伴って大規模に行うもので、それには仙南

2市7町からの農産物を集める構想があり、生産団体もかち合うことから、計画変更しようとするものである。

市の公的な施設をつくる場合には設置して事業が完了するのではなく、その後の運営コスト等についても慎重に検討していかねければならないと考えている。

市は、2市7町からの農産物を集める構想があり、生産団体もかち合うことから、計画変更しようとするものである。



教育民生所管

〔質疑〕第一小学校体育館耐震改修工事の概要について伺いたい。

〔答弁〕先の耐震工事では、柱、梁については十分に耐えることができるかと判断したが、それを埋めているモルタル部に経年劣化のため亀裂があることから、工事を行おうとするものである。

特別会計

◎第92号議案・平成20年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

〔質疑〕受診率が見込みより低かったようだが対応策をどのようにとるのか伺いたい。
また、基準受診率達成にはどのような見通しを持っているのか併せて伺いたい。

〔答弁〕特定健康診査に関する実施計画を策定しており、国が示す受診率は、平成20年度においては40%となっており、当市の受診率は46.6%で、すでに達成している。

なお、4年後の平成24年度には、国の基準に合わせ、受診率目標を65%と設定している。